

横浜市教育委員会
定例会会議録

- 1 日 時 令和8年3月6日(金) 午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 18階共用会議室(みなと6・7)
- 3 出席者 下田教育長 植木委員 森委員 泉委員 綿引委員 緒方委員
- 4 欠席者 なし
- 5 議事日程 別紙のとおり
- 6 議事次第 別紙のとおり

教 育 委 員 会 定 例 会 議 事 日 程

令和8年3月6日（金）午前10時00分

1 一般報告

横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生 Fes の報告について

2 審議案件

教委第 58 号議案 横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について

教委第 59 号議案 審査請求に関する教育長臨時代理について

教委第 60 号議案 教職員の人事について

教委第 61 号議案 教職員の人事について

教委第 62 号議案 教職員の人事について

3 報告案件

教委報第 9 号 横浜市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の
一部改正に関する意見の申出に係る臨時代理報告について

4 その他

下田教育長

ただいまから、令和8年3月6日教育委員会定例会を開会いたします。
初めに、議事日程に従い、教育次長から一般報告を行います。

石川教育次長

【一般報告】

1 市会関係

- 2/27 予算第二特別委員会（局別審査）

教育次長の石川です。それでは、報告いたします。

まず、市会関係ですが、2月27日に、予算第二特別委員会局別審査が行われ、教育委員会関係の予算案の審議が行われました。

2 市教委関係

(1) 主な会議等

- 2/26 令和7年度横浜市教育委員会表彰式
- 3/3 全国中学校体育大会において優勝した生徒による横浜市長表敬訪問
- 3/4 第98回選抜高等学校野球大会に出場する横浜高等学校野球部の選手による横浜市長表敬訪問
- 3/5 動画「若葉台で広がる新しい学びのカタチ」上映会

(2) 報告事項

- 横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fesの報告について

次に、教育委員会関係の主な会議等ですが、2月26日に、令和7年度横浜市教育委員会表彰式が市庁舎18階で行われ、下田教育長、緒方委員が出席し、挨拶しました。

3月3日には、全国中学校体育大会において優勝した生徒が市長を訪問し、下田教育長が同席しました。

また、3月4日に、第98回選抜高等学校野球大会に出場する横浜高等学校野球部の選手等が市長を訪問し、下田教育長が同席しました。

さらに、3月5日には、若葉台特別支援学校と若葉台小学校によるインクルーシブ教育推進の取組に関する動画「若葉台で広がる新しい学びのカタチ」の上映会が若葉台特別支援学校で行われ、下田教育長が出席し、挨拶しました。

次に、報告事項として、この後、所管課から「横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fesの報告について」、報告いたします。

私からの報告は以上です。

下田教育長

報告が終了いたしました。御質問等ございますか。よろしいですか。

それでは、「横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fesの報告について」、所管課から御報告いたします。

森長教職員企画部長

教職員企画部長の森長です。教育委員の皆様にも全員に御参加いただきました「横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fesの報告について」説明させていただきたいと思っております。説明は、教職員育成課の指導主事からいたしま

す。

教職員育成課指導主事の加藤です。本日は、令和8年2月13日に横浜赤レンガ倉庫にて開催いたしました「横浜教育イノベーション・アカデミア ミライの先生Fes」について、学校経営支援課とともに御報告させていただきます。今回のイベントは、教育の質向上と教職の魅力発信を目的として実施いたしました。会場とオンライン合わせて約600人の参加となりました。教育委員の皆様にも横浜赤レンガ倉庫までお越しいただきました。本イベントに御参加いただき誠にありがとうございました。今回ミライの先生Fesに参加してくださった方の満足度は92%となり、参加した多くの方に好意的に受け止めていただきました。こういった点が印象に残ったか等の声をまとめると、三つのキーワードに集約できました。資料の右側に記載しております。1点目が「新しい学びとの出会い」、2点目が「先生のリアルに触れる対話」、3点目が「子どもたちの可能性」です。

では、順に資料に沿って御説明いたします。資料の1として「1 参加者の内訳」を示しております。御確認ください。

続きまして、資料の2番を御覧ください。ミライの先生Fesの当日の様子について、三つの数字で説明させていただきます。まずは、先ほどもお伝えしたFesの満足度についてです。横浜教育イノベーション・アカデミア初のFes形式で実施したことで、参加者同士の対話や交流が生まれ、横浜の教育や教職員への理解が深まったことが、満足度の高さにつながったと分析しております。次に、「学びのきっかけ」動画についてです。子どもが学びの教材を作る取組として作成した14本の動画に約5万回の視聴があり、市内の児童生徒、保護者、教職員から約2万5,000件の「いいね」と、約5,000件のコメントやアドバイスが集まりました。子どもたちのアイデアを表彰するとともに、子どもたちが持つ可能性に参加者の多くが改めてすばらしさを感じたと捉えています。また、ブース運営やFesの企画に24名の学生スタッフが主体的に関わりました。学生が“つくり手”として参画することで会場に活気が生まれ、教育の魅力や学びの可能性を等身大の視点で伝える機会となりました。こうした関わりは、アカデミアの共創を象徴する取組の一つとなったと捉えています。

資料の裏面3番を御覧ください。こちらでは未来の学びをつくる挑戦者たちを取り上げ、それぞれの実践に対し表彰を行った様子を記載しました。多様な実践をたたえることで、挑戦と創造を促し、横浜の学びを更に広げることを目的としています。まず一つ目に、「ベスト・オブ・ヨコエデュ 2025」表彰です。横浜市教育委員会公式note「ヨコエデュ」で反響の大きかった6件の記事を選出し、グランプリとして、若葉台小学校・若葉台特別支援学校のインクルーシブ教育の取組を表彰しました。次に、産学官連携では「アカデミア共創アワード」として、三つの部門、10の取組及び団体をポスターで紹介しました。読書支援ツール「Yomokka!」を提供するポプラ社からも特別表彰が行われ、市内で最も本を読んだ学校として、鴨志田緑小学校が選ばれました。また、子どもが“学びの教材”を創る取組として「学びのきっかけ」動画も紹介しました。14作品に「スクールクリエイター賞」、さらに95件全てに「チャレンジクリエイト賞」を表彰しました。受賞した子どもの声を下段に記載しておりますので、ぜひお読みください。

資料の4番目となります。今年度の一年間の共創を経て、横浜教育イノベーション・アカデミアでは、より広い層に届く発信の工夫や、誰もが挑戦、創造をすることができる環境づくりを進めていきます。また、学生の主体性を引き出す仕組みの構築や、大学や企業等との連携を更に強化し、挑戦と創造を支える環境づくりを加速してまいります。今回の「ミライの先生Fes」は、横浜の教育の魅力を

児童・生徒・学生・教職員・大学・企業が共につくり、共に語る形で示すことができた意義の大きい機会となりました。子どもの学びや成長を支える力へとつながるように、取組を加速していきます。引き続き本取組に注目していただければと思います。報告は以上です。

下田教育長

説明が終了いたしました。御質問等ございますか。

緒方委員

御説明どうもありがとうございました。私もミライの先生Fesに参加させていただきましたが、小学生から大学生、そして現場の教職員、企業と、小学生から大人までが会場に集って、横浜の教育について語り合えたというのは意義深いことだと思って感銘を受けました。その中でも、「学びのきっかけ」動画を見せていただいて、良くできているなと思いました。もっと驚いたことは、その絵コンテは子どもが描いたということも聞いて、子どもの能力の高さと言いますか、そのようなところも分かっているし、自分がつまずいたところをしっかりと動画の中に入れることによって、ほかの子どもたちもそれに共感できる、分かりやすい動画ができているのかなと思いました。学び合いとよく言いますが、この取組は、横浜市全体の学び合いにつながる、とてもすてきな取組だと思ったので、ぜひまた続けて、裾野も広げて、いろいろな子どもが「学びのきっかけ」に参加できるようになることで学習の動機付けにも十分なると思いますし、続けていただけたらなと思いました。横浜教育イノベーション・アカデミアという、一番最後の文章にあります。いろいろなことに挑戦したり創造したりできる可能性を秘めた枠組みを準備できたこともすばらしいと思います。これからまた新たな何か良い取組も出てくるのかなと感じました。ありがとうございました。感想です。

下田教育長

ほかにごございますか。

綿引委員

私も参加させていただきまして、本当にすばらしいミライの先生Fes、つまり、横浜ならではの教育のエコシステムをこのような場で実証しているなと感じました。その意味で、子どもたちの可能性をぜひもっと多くの企業が知って、企業の思いをもっと多くの学生と子どもたちにも伝えていって、教職員に横浜の教育の可能性を実感してもらおうというサイクルが繋がっていくように、ぜひ引き続き検討してほしいなと思います。教育委員会事務局がここまで持ってくるのは大変だったろうなと思って、お疲れさまでしたと申し上げたいです。また、ぜひ来年度は、地域社会に参加できるよういろいろな検討も更に進めていただいて、更にこのイベントが意味あるものになっていくように取組をしてほしいということをお願いしたいと思います。コメントでございます。

森長教職員企画部長

教職員企画部長の森長です。今回たくさんの方に参加いただいたと認識しておりますが、今、御意見を頂いたように、更に地域や、今回は残念ながら参加できなかった学校現場の皆さんにもうまく広報して、御参加いただけるような取組をどんどん進めていきたいと思っておりますし、そのような工夫を私たちも考えていきたいと思っております。ありがとうございました。

下田教育長

ほかにごございますか。

泉委員

御報告ありがとうございました。私も当日参加させていただいて、いろいろな刺激を頂けた大変すばらしいイベントだったと感じました。初回のミライの先生

Fesの形式だったということですが、それで満足度が92%というのは非常に高い数値で、心強い成果であるなど感じています。あと、分析の中で、参加者同士の対話や交流がこのような高い満足度につながったのではないかという分析がなされておりまして、これは今後の企画設計において非常に核になり得るものではないかと感じたところです。関係者各位の御尽力に敬意を表したいと思います。

今日の資料の中でいろいろアンケートの結果を示していただいておりますので、それについて少し質問させていただきたいと思います。このアンケートの中では、再来場意向、「来年度も同じものがあつたらまた参加しますか」や、あるいは、学生も139名参加しているということですが、教員採用試験の意向の変化、「受験したいと思いますか」など、そういった次の行動につながる指標というのは取れていますかという質問です。また、もし可能であれば、教職志望の転換や教科率、そういったものも今後把握していただけたら良いかなと思いました。また、いろいろな参加者の内訳が示されておりまして、例えば教職員、学生、大学・企業と分類がありますが、それぞれの属性別での満足度や気付きの差異といったものは取っていらっしゃるのでしょうかという質問をさせていただきます。よろしく願いいたします。

加藤教職員育成課指導主事

教職員育成課指導主事の加藤です。参加した学生の振り返りアンケートを少し紹介させていただきたいと思います。既に採用が決まっている大学4年生からは、「現職の教員の話聞いて希望を見出すことができた」「より前向きな気持ちになった」、「自身が教師として働く未来がより一層楽しみになりました」ということで、不安を払拭するような体験ができたというような振り返りのアンケートがありました。また、大学3年生からは、「現職の先生と直接話して、対応がとても優しくかった。このような先生方がいるなら横浜の先生になりたいと強く思いました」という声や、「どの先生も横浜ならではの挑戦をしていることをすばらしいと感じました」ということで、横浜の魅力を十分感じ取っていただけたのかなと思っています。また、現職の学校教員からも、「横浜の魅力発信ができた」という声や、「表彰は学校の活力につながる」といった前向きな意見など、多くの回答を得られています。また、属性によるアンケート回答の集計ですが、この部分については引き続き解析しながら次回の実施に向けて検討していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

下田教育長

ほかにございますか。

森委員

御報告ありがとうございます。私も参加してみているいろいろな発見がありまして、特に興味深かったなところをコメントさせていただきたいと思えます。緒方委員もおっしゃっていましたが、「学びのきっかけ」動画というのが、事前に動画も見させていただいて、実際に動画を作った経緯や、その前後のやり取りなどをお聞きする機会もあって、これが非常に面白いと思えました。よくある教科書の題材など、可能な限り身近に寄せているとは思いますが、とはいえども、子どもたちが関心を持つような題材かと言いますと、堅い題材が多いと思えますが、子どもたちが実際に動画や絵コンテを作るときに選んでいる題材というのが、非常に子どもにとって興味がそそられたり、とても身近な題材を選んでいて、見たくなる、知りたくなるという入り口の設計の作り方が子どもたちはとても上手だなというのが、動画を見ていて思ったことです。

かつ、例えば一つの単元の中でも、よくこの問題が出てきて、よくつまづくよねという、ピンポイントでそういった題材が選ばれていて、その題材をどのよう

に選んだのかも興味がありますが、そこの説明の仕方、よくこういう間違いを
すると思うけれどもこういう考え方をするというのを、とても分かりやすく説明さ
れていて、きっと作る過程で子どもたち同士で相当やり取りしてこのように行き
着いたということが想像できるような説明の描き方だったなと思っています。

かつ、その後いろいろな方とお話をしていて気付いたのが、分からない、
分かりづらいという子ども同士のフィードバックこそすごく大切ということ、
子どもたちも実感したのではないかなということを感じました。分からないと言
うことは少し恥ずかしかったり、言えない、飲み込んでしまうということがある
と思いますが、逆にそのフィードバックがないと良い動画は作れないというこ
とがあると、安心して、分からない、分かりづらいが言えると思います。このよ
うな授業や学びの状態が作れているというのは、この学びのきっかけ動画が引き出
したものののではないかなということを感じてとても良いなと思いました。実際に
これは昨日あった話ですが、社会人になって大人になってもチームで動くことが
あり、例えば職場の中でマニュアルを作ってもなかなか理解されない、伝えたつ
もりでも伝わらないなど、そのようなことが実際にたくさんあると思いますが、
この伝わり方がうまくいかなかったら違う方法をと、その引き出しを増やして
いくためには、小学校、中学校、高等学校、こういったステージの中で、人の
いろいろな理解の仕方、され方を知っておくというのが本当に貴重だと思いま
したので、この動画を作った経緯やきっかけはとても良かったなと思いま
す。更にこれがいろいろな学校へ広がったら良いなと思いました。

あともう一つ、会場にいらっしゃった教員とも少しお話しする機会があつて、
そのときに話題になったのが、やはり親世代や、地域の中では祖父母世代の人た
ちと学校は連携・協働すると思うのですが、そうしたときに、私たち親世代や、
祖父母世代の受けてきた教育など、その当時の当たり前とやはり大分変わってき
ているが、なかなかアップデートする機会が大人としてない。けれども、こうい
った機会に保護者やいろいろな大人たちも、最近の学びはこのようにアップデ
イトされているのかということを知る機会が、社会にこのように開かれてより多く
の人が参加できるようになると、教員もチャレンジしやすくなるのかなと思っ
て、新しい授業を教員自身も仕掛けていこうと思ったときに、あまりにも理解さ
れなかったり、なぜというところでチャレンジもしづらいと思うので、社会の理
解を広げていくという意味でも、この機会をぜひ続けていただけたらなと思いま
した。そのため、綿引委員からもありましたが、来年度以降も継続する場合は、
ぜひその広報などにも力を入れてくださると良いなと思いました。

教員たちが登壇したり、実際に学生たちが学校にインタビューに行って、オン
ラインでつないで学生からの質問をその場でオンライン先の教員たちが答えるコ
ーナーというのがあって、それを見させてもらったのですが、なかなか学校のリ
アルを学生たちが聞く機会というのがない中で、かなり突っ込んだ質問のやり取
りがあって教員たちもお答えいただいていた、これはインターネット上の情報で
は分からないことだと思うので、学生にとってもとても貴重な機会だったと思
います。登壇されていた学生が、学生としてこのようなことに関わる機会がなかな
かない、関わった実感があるというお話をされていたので、少し意見をもらうだ
けではなく、学生主体でできたということもとても良いと思うので、更に来年度
もその進化を期待したいなと思いました。以上です。

下田教育長

事務局から何かコメントはありますか。

加藤教職員育

教職員育成課指導主事の加藤です。今の、学校とつなぐブースについては、実

成課指導主事 は学生のアイデアで、こんなことを行いたいというところからスタートした部分
でして、学校も全面的に協力してくださることで、よりリアルな話ができただの
かなと思っています。来年度も学生の主体性を引き出しながらいろいろな企画をし
ていきたいなと思い、今、準備を進めているところですので、来年度以降もまた
引き続き頑張っていきたいと思っております。ありがとうございます。

刀根学校経営 学校経営支援課指導主事の刀根でございます。今、森委員がお話しくださった
支援課指導主 ように、今回の「学びのきっかけ」動画の可能性を教育委員会事務局も感じてお
事 ります。特に子どもたちが自分で自分の考えを表出する機会がたくさん取れると
いうこと、そして動画を視聴する側からすると、子どもが選択できるという可能
性も広がっていくと考えております。来年度以降もこの取組をしっかりと進めてま
いりたいと思っております。以上でございます。

植木委員 私も当日参加させていただきました。あの現場にいらした方、そしてオンライ
ンでいろいろとやり取りがあった方、本当に熱量を持って参加していただいでい
たと思っております。特に壇に上がった児童生徒や、大学生の皆さんが、自分
は今どう感じているのかというのを自分の言葉で表現して、それにすごく共感で
きる、そういった流れになっていて、あの場の雰囲気はすごく良かったと思いま
す。

一方で、日程的にということもあったと思うのですが、参加できていないとこ
ろに何がどのように良かったのか、それをどのように伝えていくのか、単純に参
加された方の92%が満足していますということだけではなく、具体的に、参加し
た方はどのように良かったのか、次に自分が所属している学校でどのように取り
組んでいきたいのか、その辺りももう少しかみ砕いてお示しただけると、徐々
に参加する方が増えていくと思っております。やはり皆同じような熱量を持って
ということは難しいところもあると思っておりますので、ぜひこの熱かった思いをみん
なで共有できるように、各学校にもそういった形でのフィードバックをしていた
だけると良いのかなと思っております。以上になります。

加藤教職員育 教職員育成課指導主事の加藤です。今回のイベントにオンラインで参加した方
成課指導主事 の振り返りを少し紹介させていただきたいと思っております。東北方面や関西方面から
会場に足を運べなかった学生の方からは、「会場に行けなかったが、視聴できて
会場の熱量を感じる事ができた」という意見や、「オンライン上でもたくさん
話を聞く事ができた」ということで、満足していただいている捉えがありまし
た。また、学校の教職員からは、「成績処理の時期とちょうど重なっていたので
会場には行けなかったが、オンライン配信をしていただき、視聴することで感じ
ることができた」という意見も頂いております。そのため、イベントの開催の通知
等の示し方や、内容についてどのように示していくかという部分については、今
後また工夫して展開していきたいと思っております。教育委員会事務局が行って
いる取組について広く知っていただくためにも、イベント案内については工夫のし
どころがあるかなと思っております。よろしく申し上げます。

森長教職員企 教職員企画部長の森長です。貴重な御意見ありがとうございました。そのよう
画部長 な取組をしっかりと行っていきたいなと思っておりますし、また一方で、今回、教
員採用試験の説明もその場で行ったところですが、いわゆる採用担当者が結構近
い距離で学生たちとコミュニケーションを取りながら説明をいたしました。その取
組は、学生からもすごく良い評価を頂いたのですが、採用担当者のモチベーショ
ン

も非常に高くなりました。と言いますのは、やはり人材確保は非常に厳しい状況がありますが、それに毎回苦慮している中で、実際の学生と触れ合うことでその思いや、どこに学生たちがこだわっているのか、あるいは気にされているのか、心配しているのか、そこを生の声で聞けたというのは非常に大きくて、モチベーションが非常に高く、今回終わった後、説明で声は枯れていたのですが、明るい感じで戻ってきてくれたのはすごくうれしかったなと思いました。このような取組はぜひ引き続き続けていきたいと思っていますし、森委員おっしゃるように、実際に参加されていない方が面白そうじゃないかと思っていただけるような取組も当然行っていかなければいけないと思っていますので、今後の工夫、更にブラッシュアップしていきたいなと思っています。ありがとうございます。

下田教育長

それでは、よろしいですか。

ほかに御質問がなければ、次に議事日程に従い、審議案件及び報告案件に移ります。

まず、会議の非公開についてお諮りいたします。教委第58号議案及び教委報第9号は、議会の審議案件のため、教委第59号議案は、審査請求に関する案件のため、教委第60号議案から教委第62号議案は、人事案件のため、非公開としてよろしいでしょうか。

各委員

<了 承>

下田教育長

それでは、教委第58号議案から教委第62号議案及び教委報第9号は、非公開といたします。

非公開案件の審議に入る前に、事務局から報告をお願いいたします。

田中教育政策
統括部長

次回の教育委員会臨時会は、3月19日木曜日の午前10時から開催する予定です。また、次回の教育委員会定例会は、4月3日金曜日の午前10時から開催する予定です。御報告は以上です。

下田教育長

皆様、よろしいでしょうか。次回の教育委員会臨時会は、3月19日木曜日の午前10時から開催する予定です。別途、通知いたしますので御確認ください。

次に、非公開案件の審議に移ります。傍聴の方は御退席願います。また、関係部長以外の方も退席してください。

<傍聴人及び関係者以外退出>

教委第58号議案「横浜市立学校条例の一部改正に関する意見の申出について」
(原案のとおり承認)

教委第59号議案「審査請求に関する教育長臨時代理について」
(原案のとおり承認)

教委第60号議案「教職員の人事について」
(原案のとおり承認)

教委第61号議案「教職員の人事について」
(原案のとおり承認)

教委第62号議案「教職員の人事について」
(原案のとおり承認)

教委報第9号「横浜市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部改正に関する意見の申出に係る臨時代理報告について」
(報告のとおり承認)

下田教育長

本日の案件は以上です。これで、本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

[閉会時刻：午前11時45分]